

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団洛和会	代表者	矢野一郎	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス変更時の柔軟な受け入れ</li> <li>・ご利用者のペースにあわせたサービス提供</li> <li>・職員間の情報共有と誰でも発言できる環境</li> <li>・町内会の行事などの参加</li> </ul>
事業所名	洛和小規模多機能サービス西院	管理者	井上由紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	誰が常勤かも分かるようにして、評価を依頼する。	地域かわりシートに常勤人数を記載し全員が「はい」であった。	コロナ禍のため事業所自己評価の集計を見ていただき全員が「はい」であった。	前回と同じく「誰が常勤かわかるようにして評価を依頼する」
B. 事業所のしつらえ・環境	元々玄関を開放しているが、「解放中。気軽に入館を」と書き添えて行う。	今年度はコロナのため外部の方の入館が出来なかった。	カギはかかかっていません。とご意見記載あり。	「家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？」は条件が付き難しい。日中、事業所の玄関にカギはかけない、出来るだけ開け放しておく。
C. 事業所と地域のかかわり	施設の広報誌を回覧板に加えてもらい、より地域に知って貰えるよう家族と相談する。	小規模西院では、広報誌は内部のみの使用なら掲載してもいいという方が多く断念した。	会議が出来なかった為、意見はなし。	「何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？」に対し、電話などで報告の際に相談ごとあれば何う
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣小学校からの交流が盛ん。引き続き積極的に受け入れる。	今年度はコロナのため外部の方の入館が出来なかった。	会議が出来なかった為、意見はなし。	コロナの為集まる事は難しい、「利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？」に対し外出の許可が出るまでは外気浴など行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	ブログプリントアウトして推進会議に持参し、日頃の様子をより知って貰う。	コロナ禍のため電話と議事録の配布となっており未実施である。	会議が出来なかった為、意見はなし。	直接集まるとの会議が出来ませんが、電話などで現状の報告など行う。
F. 事業所の防災・災害対策	大規模災害を想定した伝達講習を行う。	コロナ禍のため講習は実施出来ず。	会議が出来なかった為、意見はなし。	コロナ禍が治まれば、事業所の防災訓練への参加の声掛けをする。